

MENU

SEARCH

INDEX

DETAIL

JAPANESE

LEGAL
STATUS

1 / 1

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-233015

(43)Date of publication of application : 19.08.1994

(51)Int.Cl.

H04N 1/00

H04N 11/00

H04N 1/32

(21)Application number : 05-037373

(71)Applicant : FUJI XEROX CO LTD

(22)Date of filing : 03.02.1993

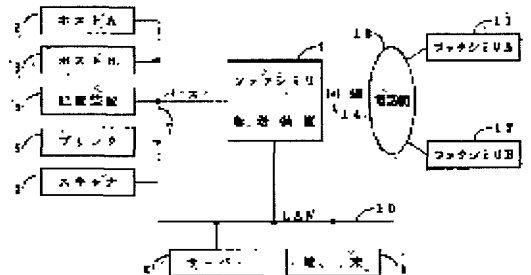
(72)Inventor : MATSUI TSUNEHIRO
KOUNOE TOSHIKI
MOCHIZUKI MASAHIRO

(54) FACSIMILE TRANSFER EQUIPMENT

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide a facsimile transfer equipment which can easily transfer the input or received picture information to the terminal equipment of an optional medium.

CONSTITUTION: A facsimile transfer equipment 1 is connected to the facsimiles 11 and 12 and also to an image processor excluding these facsimiles via at least one of a public circuit 14, a LAN 10, and an individual interface. Then a register means is added to register the output device designation information in response to an optional number or an input device. Furthermore a transfer means transfers the input or received picture information to the output device registered by the register means by designating a number or an input device.



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-233015

(43)公開日 平成 6年(1994) 8月19日

(51)Int.Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

H 0 4 N 1/00

B 7046-5C

H 0 4 M 11/00

3 0 3

7470-5K

H 0 4 N 1/32

Z 2109-5C

審査請求 未請求 請求項の数7 F D (全 7 頁)

(21)出願番号

特願平5-37373

(22)出願日

平成 5年(1993) 2月 3日

(71)出願人 000005496

富士ゼロックス株式会社

東京都港区赤坂三丁目 3 番 5 号

(72)発明者 松井 恒裕

埼玉県岩槻市府内 3 丁目 7 番 1 号 富士ゼロックス株式会社内

(72)発明者 鴻江 俊彰

埼玉県岩槻市府内 3 丁目 7 番 1 号 富士ゼロックス株式会社内

(72)発明者 望月 昌宏

埼玉県岩槻市府内 3 丁目 7 番 1 号 富士ゼロックス株式会社内

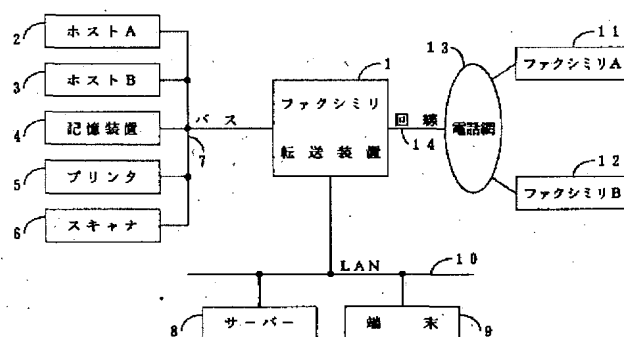
(74)代理人 弁理士 平木 道人 (外 1 名)

(54)【発明の名称】 ファクシミリ転送装置

(57)【要約】

【目的】 入力あるいは受信した画情報を任意のメディアの端末装置に簡単に転送することができるファクシミリ転送装置を得ること。

【構成】 公衆回線、LAN、個別インターフェースの内の少なくとも1つを介して、ファクシミリ、およびファクシミリ以外の画像処理装置に接続されたファクシミリ転送装置において、任意の番号および入力装置の少なくとも一方に対応して出力装置指定情報を登録する登録手段と、前記番号および入力装置の少なくとも一方を指定することにより、入力あるいは受信した画情報を、登録手段に登録された出力装置に転送する転送手段とを備えたこと。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 公衆回線、LAN、個別インターフェースの内の少なくとも1つを介して、ファクシミリ、およびファクシミリ以外の画像処理装置に接続されたファクシミリ転送装置において、任意の番号および入力装置の少なくとも一方に対応して出力装置指定情報を登録する登録手段と、前記番号および入力装置の少なくとも一方を指定することにより、入力あるいは受信した画情報を、登録手段に登録された出力装置に転送する転送手段とを備えたことを特徴とするファクシミリ転送装置。

【請求項2】 前記番号の指定は外部装置から行うことを特徴とする請求項1に記載のファクシミリ転送装置。

【請求項3】 前記登録手段は、前記番号に対応して複数の出力装置指定情報を登録可能であることを特徴とする請求項1あるいは2に記載のファクシミリ転送装置。

【請求項4】 前記登録手段には、出力装置のデータ形式および通信モードの少なくとも一方を登録可能であり、前記転送手段は、入力あるいは受信した画情報を、登録手段によって指定された出力装置に合わせたデータ形式及び通信モードで転送することを特徴とする請求項1ないし3のいずれかに記載のファクシミリ転送装置。

【請求項5】 前記登録手段に登録された出力装置が存在するか否かを確認し、存在しない場合には、該通信を中断するか、あるいは蓄積手段に受信し、出力装置が接続されるまで保持するかを選択する確認手段を備えたことを特徴とする請求項1に記載のファクシミリ転送装置。

【請求項6】 前記登録手段に登録された出力装置が存在するか否かを確認し、存在しないかあるいは動作していない場合、および出力装置指定に誤りがある場合に、出力不可能であることを入力装置に通知するか、あるいは本装置において表示することの少なくとも一方を実施する通知手段を備えたことを特徴とする請求項1に記載のファクシミリ転送装置。

【請求項7】 外部装置からの指示により、任意の番号および入力装置の少なくとも一方に対応した前記出力装置指定情報の読み出しおよび変更の少なくとも一方を実施する手段を備えたことを特徴とする請求項1に記載のファクシミリ転送装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明はファクシミリ転送装置に関し、特に従来の短縮ダイヤル機能を拡張し、あるいは新たに入力装置別に出力装置を設定する能力を持たせることにより、任意のメディアの出力装置に画情報の転送を可能にするファクシミリ転送装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、ファクシミリには短縮ダイヤル機能を持つものがあり、相手先電話番号を登録しておくこ

とにより、1回の操作で登録した相手先に画情報を送信することができた。

【0003】 また、電子メール、データベース等のサービスシステムにおいては、例えば特開昭63-46843号公報に開示されているように、メール文書の登録時あるいは検索条件の登録時に、配信文書をいかなるメディアに出力するかという出力形式を発信側端末から制御可能とする技術が提案されている。

【0004】

10 【発明が解決しようとする課題】 上記したような、従来の短縮ダイヤル機能では、送信側ファクシミリ装置でしか短縮ダイヤルの指示が出来ず、また送信先も交換網を経由したファクシミリ装置に限定されているという問題点があった。また電子メール等のシステムにおいても、出力形式の指定が発信側端末からしか出来ないという問題点があった。

【0005】 本発明の目的は、前記のような従来技術の問題点を解決し、入力あるいは受信した画情報を任意のメディアの端末装置に簡単に転送することができるファクシミリ転送装置を得ることにある。

【0006】

20 【課題を解決するための手段】 本発明は、公衆回線、LAN、個別インターフェースの内の少なくとも1つを介して、ファクシミリ、およびファクシミリ以外の画像処理装置に接続されたファクシミリ転送装置において、任意の番号および入力装置の少なくとも一方に対応して出力装置指定情報を登録する登録手段と、前記番号および入力装置の少なくとも一方を指定することにより、入力あるいは受信した画情報を、登録手段に登録された出力装置に転送する転送手段とを備えたことを特徴とする。

【0007】

【作用】 このような手段により、本装置を異なるメディアのネットワークに接続しておき、本体または外部装置からの指示に基づき、入力または受信した画情報を任意のメディアの端末に簡単に転送することが可能となる。

【0008】

40 【実施例】 以下に本発明の実施例を図面を参照して詳細に説明する。図1は本発明が適用されるファクシミリ転送装置を含むネットワークの1例を示すブロック図である。ファクシミリ転送装置1は詳細は後述するが、回線1.4によって電話網と接続されており、電話網を介して他のファクシミリA11、B12等と通信を行う。

【0009】 また、例えばGPIB、SCSI等のバスにより、ホストA2、B3、ハードディスク、光磁気ディスク等の記憶装置4、プリンタ5、スキャナ6等に接続されている。さらに、イーサネット等のLANにより、サーバー8、端末9等と接続されている。これらのホスト、記憶装置、入出力装置、サーバー、端末はいずれもファクシミリの画像データを入出力あるいは処理、蓄積可能なものである。

【0010】図2はファクシミリ転送装置1の内部構成を示すブロック図である。CPU20はROM21に記憶されたプログラムに従って、ファクシミリ転送装置1全体の制御を行う。RAM22は入力あるいは受信した画情報を記憶し、あるいは各種制御データを記憶している。

【0011】スキャナ23は原稿を読み取り画情報データを出力する。プリンタ24は画情報データを印刷する。外部入出力部Aは、例えばGPIB、SCSI等のバス用インターフェース回路である。また、外部入出力部Bは、例えばイーサネット、トークンリング等のLAN用インターフェース回路である。短縮ダイヤル記憶部27は、例えばバッテリーバックアップされたRAMあるいはフラッシュメモリ等で構成されており、後述する短縮ダイヤル情報が記憶される。

【0012】通信制御部28は通信制御装置および網制御装置等からなり、電話網および相手ファクシミリとの交換制御、伝送制御、手順制御等を行う。符号化部29は画情報データを定められた方式で符号化（圧縮）する。また復号化部30は符号化された画信号を元の画情報データに復号化（伸張）する。

【0013】拡大、縮小部31は、入力あるいは受信された画情報データを出力装置の仕様等に合わせて拡大縮小する。入力部32は例えばパネルスイッチから構成されており、オペレータが電話番号、短縮番号、各種指示等を入力する他、短縮ダイヤル情報の登録、削除も行われる。表示部33は例えばLCD表示装置等からなり、装置の状態、入力したキー情報等を表示する。34は装置内部の各回路間を接続するバスである。

【0014】つぎに、データについて説明する。図3は短縮ダイヤル記憶部27に記憶される短縮ダイヤル情報を示す図である。この例では、例えば01から99までの短縮ダイヤルに対して、複数の出力情報を登録可能になっている。基本の項には、入力装置別の出力指示が無い場合（従来の短縮ダイヤルと同様のもの）の出力情報を登録することができ、また入力別指示の項には、入力装置A～Z（数は任意）別の出力情報を登録することができる。

【0015】表の最後の行は、単に入力別に出力装置を登録することにより、入力装置と出力装置を半固定的に接続するための出力情報である。各出力情報欄には複数の出力情報を登録することが可能であり、出力情報の詳細を図4に示す。各出力情報には、図に示すような情報項目がある。電話番号は従来の短縮ダイヤルと同様の電話網等の相手先加入者番号である。

【0016】出力装置情報はファクシミリ以外の装置を指定する場合の出力装置の種類を示す情報である。出力装置アドレスは、上記出力装置のアドレスであり、例えばLAN等における端末アドレス情報である。転送モード（通信モード）は、上記出力装置との間の、例えば伝

送速度、信号フォーマット、伝送制御手順の種類等の通信制御情報である。

【0017】中継局情報以降はファクシミリ用の情報である。中継局は該局を経由して画情報を転送する場合にセットされる。線密度、サイズは該出力ファクシミリについて指定する必要がある場合にセットされる。時刻情報には送信を開始する時刻をセットすることが可能である。結果通知情報は通信結果を出力すべき装置の情報である。

【0018】図3の各出力情報欄には、図4に示すような出力情報が複数登録可能である。なお1つの電話網のファクシミリと、1つのファクシミリ以外の出力装置であれば、1つの出力情報単位で指定可能である。これらの情報はパネルから設定することができる。

【0019】つぎに動作について説明する。図5、図6は、例えば図1に示すようなシステムのファクシミリ転送装置におけるホストからの画情報の受信、転送動作を示すフローチャートである。ステップS1においては、ホストから短縮ダイヤル指示があったか否かが調べられ、指示があった場合にはステップS6に移行するが、指示が無かった場合にはステップS2に移行する。

【0020】ステップS2においては、入力装置別の出力指定情報が登録されているか否かが調べられ、該出力指定登録も無い場合にはステップS3に移行する。ステップS3においては、ホストからの出力指定があるか否かが調べられ、指定が無い場合にはステップS4に移行する。

【0021】ステップS4においては、蓄積可能か否かが調べられる。ファクシミリ転送装置がポーリングリング用蓄積、蓄積原稿転送等が可能であり、かつメモリが空いている場合には蓄積可能であるので、ステップS5に移行し、画情報を受信し、メモリに蓄積して処理を終了する。ステップS4において、蓄積不可能である場合にはエラー処理に移行し、入力装置にエラーを通知して終了する。

【0022】ステップS6においては、入力装置別の出力指定情報が登録されているか否かが調べられ、該出力指定登録が無い場合にはステップS7に移行し、図3において短縮番号に対応した基本出力情報を参照して出力先を決定する。ステップS6において、入力装置別の出力指定が登録されている場合には、ステップS8に移行し、図3の入力別指示の欄の出力情報を参照して、短縮番号および入力装置から出力先を決定する。

【0023】ステップS2において、入力装置別の出力指定が登録されていた場合には、ステップS9に移行し、図3の最後の行の出力情報を参照して、入力装置から出力先を決定する。またステップS3において、ホストからの出力指定があった場合にはステップS10に移行し、該指定に従って出力先を決定する。これ以降は図6に続く。

【0024】図6に移って、ステップS11においては、出力情報によって指定された出力装置が受信可能であるか否かが調べられ（複数出力の場合には少なくとも1つは確認する。）、可能である場合にはステップS12に移行する。ステップS12においてはホストから画情報を受信し、ステップS13においては受信した画情報を指定された出力装置に転送する。なおステップS12と13とは同時に行ってもよい。また受信した画情報を蓄積する場合にはステップS11を省略することも可能である。

【0025】ステップS11において、出力装置が受信不可能である場合、あるいは存在しない出力装置を指定した場合には、ステップS14に移行し、エラー通知が必要であるか否かが調べられる。ステップS14においてエラー通知が必要である場合には、ステップS15に移行し、出力情報内に指定された出力装置にエラー通知を出力する。

【0026】ステップS16においては、通信を中断すべきか否かが調べられ、中断すべきである場合には、中断処理に移行する。また中断すべきでない場合には、ステップS17に移行し、ホストからの画情報を受信し、RAM等のメモリに蓄積する。ステップS18においては、指定された出力装置が受信可能か否かが調べられ、受信可能であればステップS13に移行する。

【0027】ステップS18において出力装置が受信不可能である場合には、ステップS19に移行し、タイマー設定指示があるか否かが調べられ、該指示が無い場合にはステップS18に戻るが、指示があった場合にはステップS20に移行する。ステップS20においては、所定値のタイマーを設定する。

【0028】ステップS21においては、指定された出力装置が受信可能か否かが調べられ、受信可能であればステップS13に移行するが、出力装置が受信不可能である場合には、ステップS22に移行し、タイマーがタイムアウトしたか否かが調べられる。

【0029】ステップS22においてタイマーがタイムアウトしていない場合には、ステップS21に戻るが、タイムアウトした場合にはステップS23に移行する。ステップS23においては、エラー通知が必要であるか否かが調べられ、通知が必要である場合にはステップS24に移行し、出力情報内に指定された出力装置にエラー通知を出力して、中断処理に移行する。

【0030】なお、ステップS18以降の処理は一例であって、例えばステップS17において画情報を蓄積した後、他の処理を行いながら、周期的に出力装置の状態を監視するようにしてもよい。

【0031】以上実施例を説明したが、以下に示すよう

な変形例も考えられる。出力先の指定方法については、入力別出力指示が登録されていれば、これが優先して採用される例を示したが、入力別出力指示情報を採用するか否かを入力装置から指定できるようにしてもよい。短縮ダイヤル情報の登録は、ファクシミリ転送装置のパネルから入力し、セットする例を示したが、例えばホスト等の外部装置から短縮ダイヤル情報（出力情報）のセットおよび読み出しができるようにしてもよい。

【0032】図1の例では、バスやLANに接続する例を示したが、例えばRS232C等のインターフェースにより、1つの、あるいは複数のホストと1対1に接続されてもよい。また公衆網も、ISDNやデータ交換網、PBX、ファクシミリ網でもよい。つまり、接続される装置の種類や接続形態は任意である。受信データを一切加工しないで転送することも可能であり、送信側と受信側の合意により、ファクシミリ以外のデータを扱うことも可能である。

【0033】登録あるいは指定された出力装置が存在しない場合には、登録に誤りがあることを例えば入力装置に通知する、または本装置に表示するようにし、その通信を中断するか、あるいは蓄積して出力装置が接続されるまで保持するかを選択できるようにしてもよい。

【0034】

【発明の効果】以上述べたような本発明のファクシミリ転送装置によれば、ファクシミリ以外の任意のメディアの端末装置に、入力あるいは受信した画情報をファクシミリと同様の簡単な操作で転送することができるという効果がある。従って、ホスト側は従来と同様な処理によって、ファクシミリ以外の装置への転送を行うことが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 転送装置を含むシステムの1例を示すブロック図である。

【図2】 ファクシミリ転送装置の内部構成を示すブロック図である。

【図3】 短縮ダイヤル情報を示す説明図である。

【図4】 出力情報の詳細を示す説明図である。

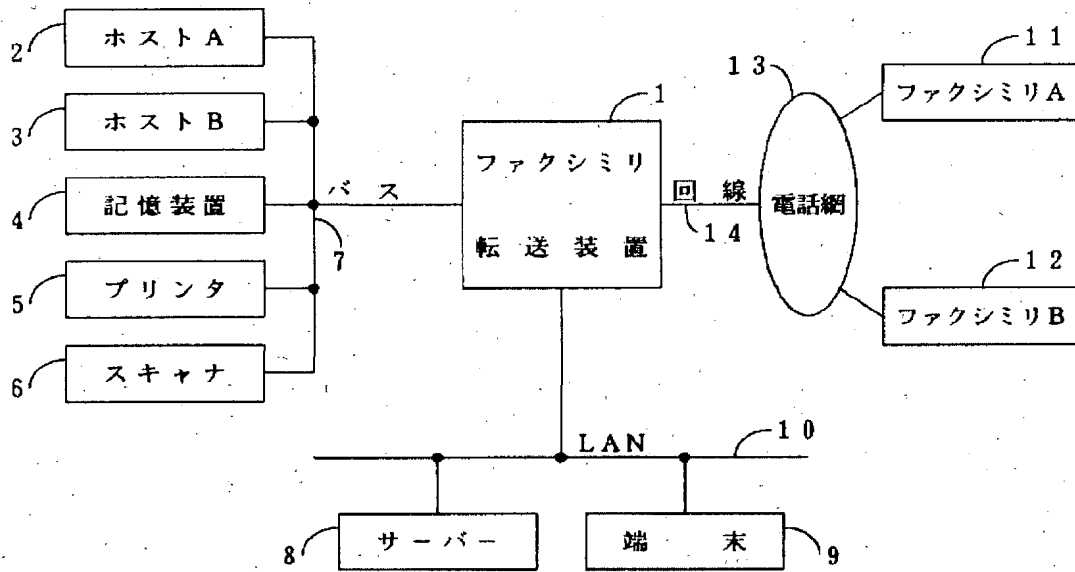
【図5】 受信動作を示すフローチャート（その1）である。

【図6】 受信動作を示すフローチャート（その2）である。

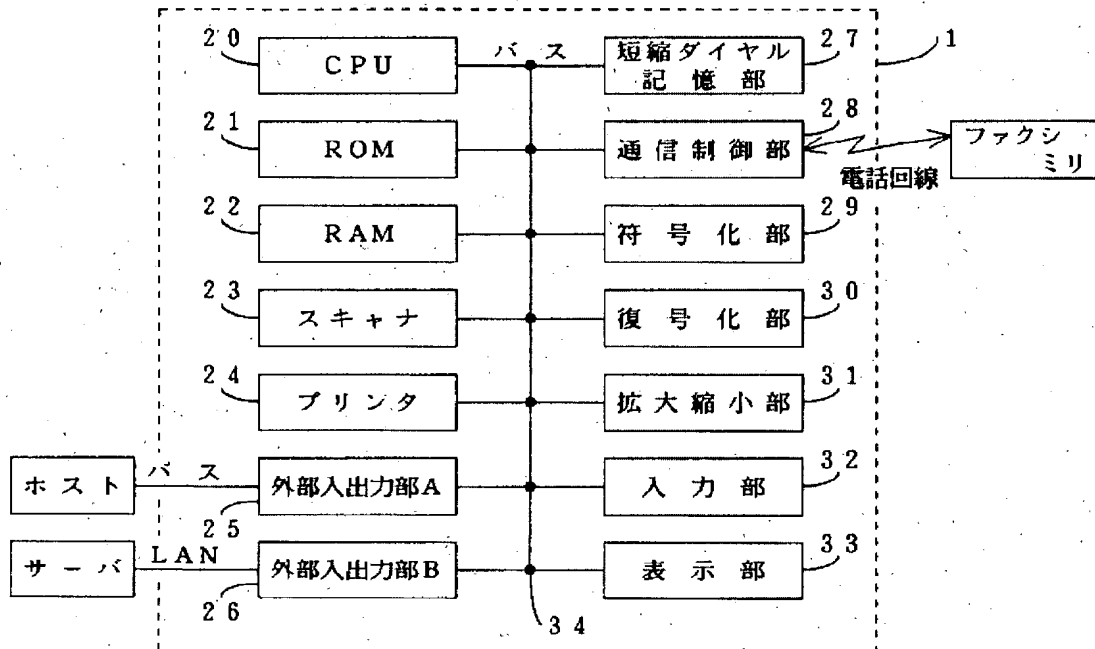
【符号の説明】

1…ファクシミリ転送装置、2、3…ホスト、4…記憶装置、5…プリンタ、6…スキャナ、7…バス、8…サーバー、9…端末、10…LAN、11、12…ファクシミリ、13…電話網、14…回線

【図1】



【図2】



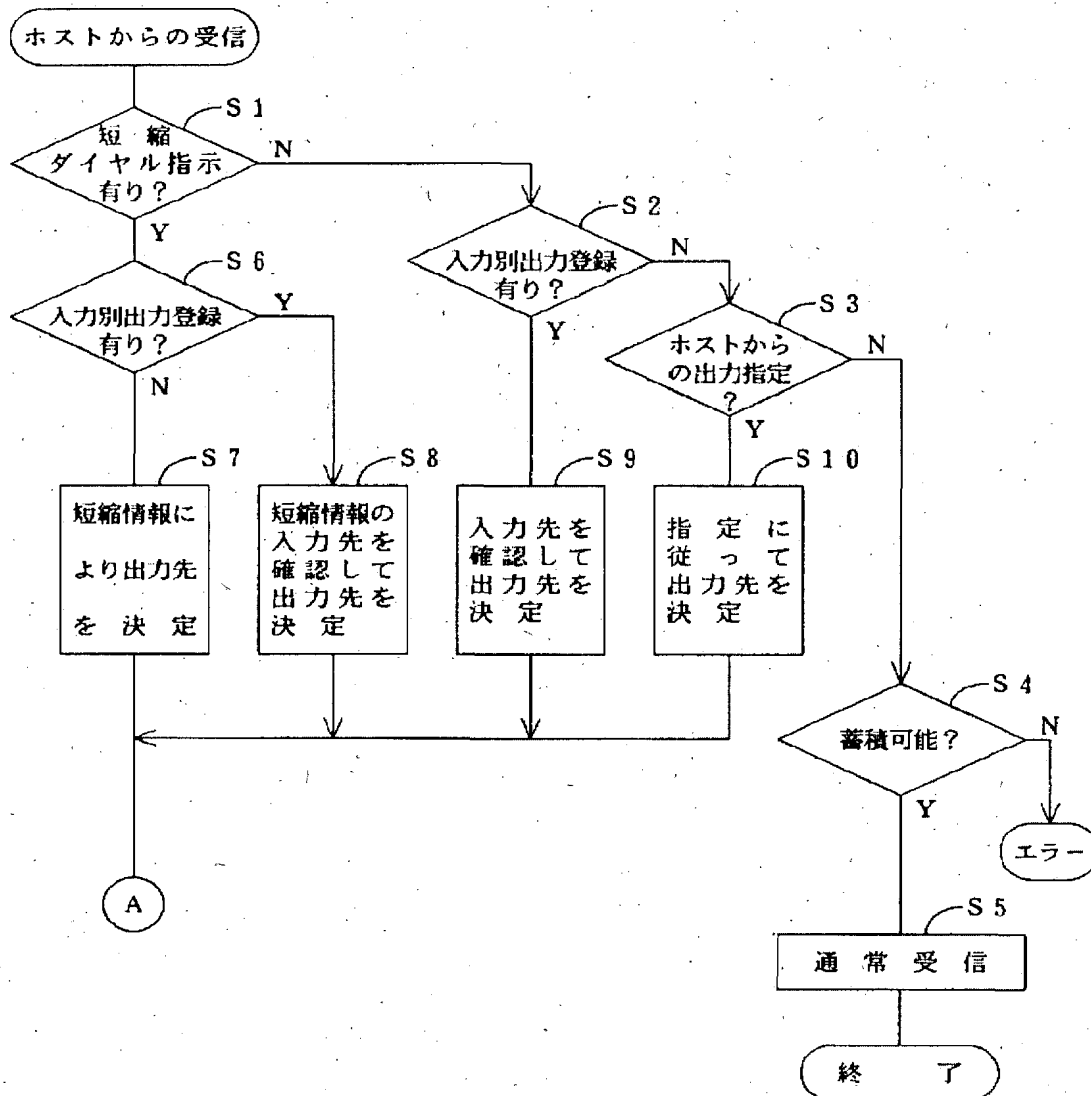
【図3】

短縮番号	基本	入力別指示			
		A	B	-----	Z
01	出力情報	出力情報	出力情報	-----	出力情報
...
99	"	"	"	"	"
		"	"	"	"

【図4】

電話番号
出力装置情報
出力装置アドレス
転送モード(通信モード)
中継局
線密度
サイズ
時刻
プリント情報/表示情報
結果通知情報
情報コメント

【図5】



【図6】

